

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2003-18543 (P2003-18543A)

【公開日】平成 15 年 1 月 17 日 (2003.1.17)

【出願番号】特願 2002-100341 (P2002-100341)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/91

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/76

H 0 4 S 3/00

H 0 4 S 5/02

H 0 4 S 7/00

【F I】

H 0 4 N 5/91 C

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 S 3/00 Z

H 0 4 S 5/02 A

H 0 4 S 5/02 K

H 0 4 S 5/02 Y

H 0 4 S 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オーディオ信号と映像信号を同時に一つの記録媒体に記録又は記録及び再生が可能なビデオカメラにおいて、

複数のマイクロフォンと、

上記複数の各マイクロフォンから出力されるオーディオ信号のうち 2 チャンネルのオーディオ信号を 1 チャンネルのオーディオ信号に変換する変換部と、

上記複数の各マイクロフォンから出力されるオーディオ信号の低域成分を抽出する低域成分抽出部と、

上記複数のマイクロフォンからの出力信号と上記変換部からの出力信号と上記低域成分抽出部からの出力信号とを同時にエンコードするエンコード部とを備え、

上記エンコード部によってエンコードされた出力信号を上記記録媒体に記録する

ことを特徴とするビデオカメラ。

【請求項 2】

上記複数のマイクロフォンから出力されるオーディオ信号は、フロント左チャンネル信号、フロント右チャンネル信号、リアー左チャンネル信号、リアー右チャンネル信号の 4 チャンネル信号であることを特徴とする請求項 1 記載のビデオカメラ。

【請求項 3】

上記変換部に入力される上記オーディオ信号は、上記フロント左チャンネル信号と上記

フロント右チャンネル信号であることを特徴とする請求項 1 記載のビデオカメラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明に係るビデオカメラは、オーディオ信号と映像信号を同時に一つの記録媒体に記録又は記録及び再生が可能なビデオカメラにおいて、複数のマイクロフォンと、上記複数の各マイクロフォンから出力されるオーディオ信号のうち 2 チャンネルのオーディオ信号を 1 チャンネルのオーディオ信号に変換する変換部と、上記複数の各マイクロフォンから出力されるオーディオ信号の低域成分を抽出する低域成分抽出部と、上記複数のマイクロフォンからの出力信号と上記変換部からの出力信号と上記低域成分抽出部からの出力信号とを同時にエンコードするエンコード部とを備え、上記エンコード部によってエンコードされた出力信号を上記記録媒体に記録するようにしたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係るビデオカメラは、複数のマイクロフォンから出力されたオーディオ信号と、複数の各マイクロフォンから出力される 2 チャンネルのオーディオ信号を 1 チャンネルのオーディオ信号に処理したオーディオ信号と、複数の各マイクロフォンから出力されるオーディオ信号から抽出された低域成分とが同時に記録媒体に記録されるので、臨場感溢れる音響再生を映像再生と共に行うことができ、例えば、子供の運動会等で我が子が競技で活躍するダイナミックな姿を、各方位の音のみならず、我が子の後方その他周囲からの声援、歓声、どよめき等のサラウンド音と共に、高い臨場感を伴って再生することができ、家庭での映像及び音響の再生セットの機能を十分に活かして堪能することが可能となる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

なお、複数のマイクロフォンから出力されるオーディオ信号は、フロント左チャンネル信号、フロント右チャンネル信号、リアー左チャンネル信号、リアー右チャンネル信号の 4 チャンネル信号であり、変換部に入力されるオーディオ信号は、フロント左チャンネル信号とフロント右チャンネル信号である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

【発明の効果】

上述したように、本発明に係るビデオカメラは、複数のマイクロフォンから出力されたオーディオ信号に加えて、複数の各マイクロフォンから出力される 2 チャンネルのオーディオ信号

ィオ信号を１チャンネルのオーディオ信号に処理したオーディオ信号と、複数の各マイクロフォンから出力されるオーディオ信号から抽出された低域成分とが同時に記録媒体に記録されるので、臨場感溢れる音響再生が映像再生と共に行うことができ、例えば、子供の運動会等で我が子が競技で活躍するダイナミックな姿を、各方位の音のみならず、我が子の後方その他周囲からの声援、歓声、どよめき等のサラウンド音と共に、高い臨場感を伴って再生することができ、家庭での映像及び音響の再生セットの機能を十分に活かして堪能することが可能となる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３２】

さらに、本発明に係るビデオカメラによれば、サラウンド音録音専用のマイクロフォンを設けなくても分離された各方位の音響とは別に周囲の全方位の音響をキャッチすることができ、再生時に、そのサラウンド音を低音を利かせて独立したスピーカから再生することができる。